

みと・あかつかカンファレンス

差出人: みと・あかつかカンファレンス <admin@kankan2025.jp>
送信日時: 2019年4月8日月曜日 23:30
宛先: 'jsp-admin@umin.ac.jp'
CC: '日本栄養士会'; '日本医師会'; '日本薬剤師会'; '日本歯科医師会'; '日本看護協会'; '日本理学療法士協会'; '日本作業療法士協会'; '日本社会福祉士会'; '日本介護福祉士会'; '立川 晶'; '朝倉 洋'; '生田 弦己'; '江川 剛正'; '佐藤 仁彦'; '越田 普之'; '平野 有紀'; '大林 広樹'; '茨城県警察本部'; 'クローズアップ現代 +'; '湯川 英俊'; '池田 剛士'
件名: 通達（みと・あかつかカンファレンス）*メディア対策室；安倍晋三 首相案件（ムチン騒乱）【信用失墜行為】#東京都文京区

一般社団法人日本病理学会 御中

学術秘書
池田です。

検事総長に指示し、騒乱罪（刑法 106 条）で公訴いたします。

図説明

図 1. 健常粘膜における分泌型 IgA (S-IgA) による粘膜バリアと細胞性免疫反応による炎症免疫反応の制御 (②-⑤)

図 2. 炎症性腸管障害における炎症免疫反応 (②-⑧) と粘膜構造の破綻、粘膜修復による粘膜バリア機能の回復 (⑨)

● おわりにー粘膜における生体防御機能の新たな展開

粘膜における生体防御機能の特徴は、外界からの抗原物質や病原微生物の侵入を防ぎ、また侵入してきたこれらを排除するとともに、これらに対する過剰な生体反応を抑制することによって、体の様々な営みの恒常性をはかることにあります。こうした仕組みを利用して病気の予防や治療が行われ始めています。病気を予防する粘膜ワクチンの開発、アレルギー疾患や自己免疫疾患の治療へと発展しています。

<http://pathology.or.jp/ippan/pdf/nagura.pdf#page=3>

理由：

<https://www.kitasato-u.ac.jp/sci/univ/chemistry/news/n20190125.html>

<http://nokyoko.jp/#norioka>

<http://acsec.co.jp/#首謀者>

では。

この件に関するお問い合わせ先：

みと・あかつかカンファレンス事務局長
ラクトース研究班「いもいち 2025」班長代理
有限会社学術秘書

本店営業部

池田剛士

〒311-4141

茨城県水戸市赤塚 1-386-1-107

電話：029-254-7189

携帯：090-4134-7927

追補：訂正報道新着

<http://kankan2025.jp/>